

令和4年度 【 数学 】 科 授業改善推進プラン

大田区立安方中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

昨年度同様、どの学年も学力調査では高い数値を残している。立式やその後の計算の仕方、より細かく丁寧に指導し、なぜそうなるかを理解できるような説明や、納得しやすい例題を提示しながら授業を展開した。また、数学への興味を持たせたうえで、基礎・基本の理解と定着に重点をおき、それを使って応用的な問題ができる力、基礎的・汎用的能力を育てることができた。

(2) 課題

基礎力が定着していない生徒に対してのフォローが必要であると感じる。そこで、習熟度別による少人数指導を取り入れ、支援の必要な生徒の個別指導を行っていく。また、基礎的な内容を理解している生徒に対しては、既習事項を確認しながら、新たな学習内容の定着も図っていく。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

| | 令和4年度結果 | 令和3年度結果 | 令和2年度結果 |
|------|-------------------|------------------------------|------------------------------|
| 第1学年 | 区の標準スコアよりも上回っている。 | / | / |
| 第2学年 | 区の標準スコアよりも上回っている。 | 区の標準スコアよりも下回っている。 (第1学年時) | / |
| 第3学年 | 区の標準スコアよりも上回っている。 | 区の標準スコアよりも上回っている。 (第2学年時) | 区の標準スコアよりも上回っている。 (第1学年時) |

(2) 分析（観点別）

① 第1学年

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|-------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 区の目標値より、校内平均正答率が上回っている。 | 区の目標値より、校内平均正答率が上回っている。 | 区の目標値より、校内平均正答率が上回っている。 |

② 第2学年

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|-------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 区の目標値より、校内平均正答率が上回っている。 | 区の目標値より、校内平均正答率が下回っている。 | 区の目標値より、校内平均正答率が下回っている。 |

③ 第3学年

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 区の目標値より, 校内平均正答率が上回っている。 | 区の目標値より, 校内平均正答率が上回っている。 | 区の目標値より, 校内平均正答率が上回っている。 |

3 授業改善のポイント (観点別)

(1) 第1学年

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--------------------|--------------------|--------------------------|
| 基礎的・基本的な内容の定着を目指す。 | 基礎的・基本的な内容の定着を目指す。 | 自ら進んで学習に取り組む姿勢を育むよう指導する。 |

(2) 第2学年

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--------------------|--------------------|--------------------------|
| 基礎的・基本的な内容の定着を目指す。 | 基礎的・基本的な内容の定着を目指す。 | 自ら進んで学習に取り組む姿勢を育むよう指導する。 |

(3) 第3学年

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--------------------|--------------------|--------------------------|
| 基礎的・基本的な内容の定着を目指す。 | 基礎的・基本的な内容の定着を目指す。 | 自ら進んで学習に取り組む姿勢を育むよう指導する。 |